

2025 年 4 月 1 日

疫学研究とは、病気にかかる頻度や要因を統計学的に分析し、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去の診療記録から得られた情報や検査終了後の残余検体を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療を評価し、より良い診断・治療法を確立して患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。本研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報や検査終了後の残余検体をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。また、本研究では、患者さんの氏名、生年月日などの個人を特定できる情報を削除し、匿名化した情報のみを使用します。研究結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人情報外部に公表されることは一切ありません。もし、本研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、研究責任者までご連絡いただければ、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また、本研究に関してご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	ビタミンD中間代謝産物解析による高カルシウム血症および高カルシウム尿症患者の病態評価
対 象	本研究の承認日から 2030 年 3 月 31 日までに兵庫県立尼崎総合医療センターで加療された当院で加療する高カルシウム血症/高カルシウム尿症の生後 6 か月以上の患者様
研究期間	本研究の承認日から 2030 年 3 月 31 日までを予定しています。（上記「対象」に記載した期間に同じ）
研究目的	当院では、高カルシウム血症や高カルシウム尿症の診断・治療のために、血液検査と尿検査を行っています。この度、富山県立大学と日本電子株式会社と協力し、検査後の残った検体を用いて、ビタミンD代謝産物を測定する研究を行います。この研究は、今後の診断や治療の向上に役立てることを目的としています。お預かりした検体・情報は、個人情報がかからないように匿名化して使用します。また、この研究結果が、患者様の診断や治療方針に影響を与えることはありません
方 法	匿名化された検体と検査情報を、研究協力者である富山県立大学と日本電子株式会社と共有し、日本電子株式会社が LC-MS/MS 法に基づきビタミン D 代謝産物を解析します。
個人情報	臨床情報は匿名化し、新たな研究 ID を付与することで個人が特定できないようにし、年齢、性別、診断名、検査結果などの必要な臨床データのみを収集して解析を行います。研究結果は国内外の学会発表や学術論文で発表されることがありますが、個人情報が公表されることはありません。臨床検査が終了したあとの残余検体を用いるために、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じる可能性は低いと考えています。臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、研究責任者までご連絡いただければ、本解析対象には含めることはいたしません。本研究は主に小児科研究費で実施されます。本研究の実施にあたっては、研究者の利益相反状況に関する申告を行い、公正に研究を推進します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科 研究代表者・責任者：小児科部長 小林健一郎 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001